

平成 26 年度在京飯田高校同窓会総会
〈第二部 講演会〉

講演タイトル： 現場で体験した福島第一原子力発電所事故
—レジリエンス（弾性力）工学の観点から緊急時対応を考える—

講演趣旨：

3. 1 1 の東日本大震災時に、福島第一原子力発電所のユニット所長（5, 6 号機）であった私は、地震・津波後に発動された発電所の緊急時態勢の中で、事故の拡大を防止すべく現場で約 10 ヶ月寝泊りをしながら対応を行った。現場は、次々と発電所が爆発し、放射線量も急激に高まる中、まるで戦場のような様相を呈していた。事故はなぜ起きたのか、現場は、作業員はどのような状況であったのか、現場での体験を含めて紹介する。

また、現地で実際に行われた事故対応事例をもとに、最近注目されているレジリエンス（弾性力）工学の観点から、人を「エラーを起こす厄介なもの」として捉えるのではなく、「有事の際にダメージを回復できる弾性力を持つ」ものとしてより積極的に活用する安全概念について紹介する。

講師紹介：吉澤 厚文

原燃輸送株式会社 代表取締役社長

東京工業大学 非常勤講師、芝浦工業大学 特別講師

原子炉主任技術者、第一種放射線取扱主任者

略歴

- 1981年 東京工業大学 機械物理工学科卒業
- 1983年 同 大学院総合理工学研究科（原子核工学）修了
- 1983年 東京電力㈱入社
- 1995年 ハーバード大学日米関係プログラムアソシエイツ
- 2001年 福島第一原子力発電所 技術部長 原子炉主任技術者
- 2009年 同 ユニット所長（5, 6号機）
- 2011年 **東日本大震災**
- 2011年 本店 原子燃料サイクル部長
- 2013年 原燃輸送㈱ 代表取締役社長、現在に至る